

みんなで守る、いのちと暮らし、豊かな未来

流域治水

事例集

静岡県内市町による流域治水の取組

流域全体で水害を軽減し、
安全・安心で持続可能な地域づくりを目指して



集水域

雨水を貯める・しみこませる



河川区域

安全に流す



氾濫域

被害の軽減・備えをする



みんなで

連携・協働する

目次

施策	内容	市町	頁
河川内の土砂掘削	江川及び新川の土砂掘削	清水町	2
危険木除去	危険木除去（上野部川上流部）	磐田市	
遊水地・調整池の整備	柴田山調整池の整備	磐田市	3
	水堀川調整池の整備	磐田市	
連絡水路の新設	新田第一・第二橋管連絡水路新設	函南町	4
下水道（雨水幹線）の整備	下水道における安全・安心な浸水対策の推進（黒石川排水区）	藤枝市	
	下水道における安全・安心な浸水対策の推進（大溝川排水区）	藤枝市	5
公共施設への貯留施設の設置	公共施設への雨水貯留施設新設（柏谷公園駐車場）	函南町	
学校施設への貯留施設の設置	校庭貯留施設の整備	浜松市	6
道路事業による貯留施設の設置	道路整備事業による調整池の設置	富士市	
高速道路P Aへの貯留施設の設置	日本坂パーキングエリア調整池の活用	焼津市	7
排水機場の設置	西添町第二排水機場の新設	沼津市	
	排水ポンプの設置	牧之原市	8
既存排水機場の改築	柳原雨水ポンプ場の整備	袋井市	
雨水管渠・雨水ポンプ場の整備	下水道（雨水きょ・ポンプ場）の整備	静岡市	9
道路への雨水浸透柵等の設置	道路への雨水浸透柵等の設置	静岡市	
住宅への雨水貯留浸透施設設置の促進	雨水貯留浸透施設設置に対する助成	静岡市	10
	雨水浸透施設の設置促進	島田市	
農業用ため池の活用	農業用ため池を雨水調整池の防災機能として整備	伊豆の国市	11
水田貯留の推進	田んぼダムの取組	袋井市	
	田んぼダムの推進	浜松市	12
アプリを活用した避難支援	防災アプリ「防災ふじ」を活用した避難行動要支援者の避難支援体制構築	富士市	
避難支援のためのシステム構築	巴川浸水情報システム	静岡市	13
	防災情報発信の強化（浜松市土木防災情報システム）	浜松市	
	主要幹線道路の冠水情報提供体制構築	富士市	14
水位計・カメラ等による防災情報の発信	水位計・河川監視用カメラ・雨量観測システムの拡充	藤枝市	
	地内水路の水位計設置、地区住民への展開	富士市	15
	リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の普及活動	島田市	
	ワンコイン浸水センサ設置・活用	函南町	16
住民の水害リスクに対する理解促進	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	吉田町	
住民の避難行動の促進	住民が主体的な避難行動につなげるための取組	清水町	17
水防団等の地域防災力の強化	地域防災力の強化	袋井市	
防災教育の推進	防災教育の推進	伊豆の国市	18
避難所としての民間施設の活用	民間施設の一部を緊急避難場所として住民安全確保	磐田市	
ポンプ車・可搬式ポンプの導入	排水ポンプ車、排水ポンプパッケージの導入・運用	沼津市	19
	排水ポンプ車等の増設	焼津市	
	ポンプ場の整備	吉田町	20
	可搬式排水ポンプの設置	吉田町	

清水町
江川



活用制度

- ・緊急浚渫推進事業債

関係者

—

問い合わせ

清水町建設課

TEL: 055-981-8229

【江川】



着工前



完成

【新川】



着工前



完成

◎事例概要

【江川浚渫工事】

施工延長L=1,155m、浚渫工V=277m³、除草工A=272m²

【新川浚渫工事】

施工延長L=390m、浚渫工V=356m³、除草工A=520m²

◎P R ポイント

【江川浚渫工事】

住宅地を流れる河川のため、河川断面の回復に合わせて住環境の向上が図られた。

【新川浚渫工事】

河川の土砂掘削により河川断面の回復が図られた。

危険木除去（上野部川上流部）

磐田市
上野部川上流部



活用制度

- ・森林環境譲与税

関係者

- ・磐田流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市農林水産課

TEL: 0538 (37) 4913



◎事例概要

上野部川上流部の危険木除去

大雨や台風時に山林から流出した倒木は、下流河川の氾濫リスクを高めることから、倒木の流出を抑制するため、上野部川上流の危険木の除去を実施した。

磐田市 柴田山調整池



活用制度

- ・ 県営湛水防除事業

関係者

- ・ 静岡県
- ・ いわた流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市農林水産課
TEL: 0538 (37) 4913



◎事例概要

本調整池の完成により、今之浦川への流入水量を調整することが可能となるため、市南部地域の湛水による農業被害が軽減される。

- ・ 事業期間：平成24年度から令和7年度
- ・ 総事業費：1,475,225,800円
- ・ 流域面積：3,194ha
- ・ 調整能力：北側7万m³ 南側1万m³ 計8万m³

水堀川調整池の整備

磐田市 水堀川調整池



活用制度

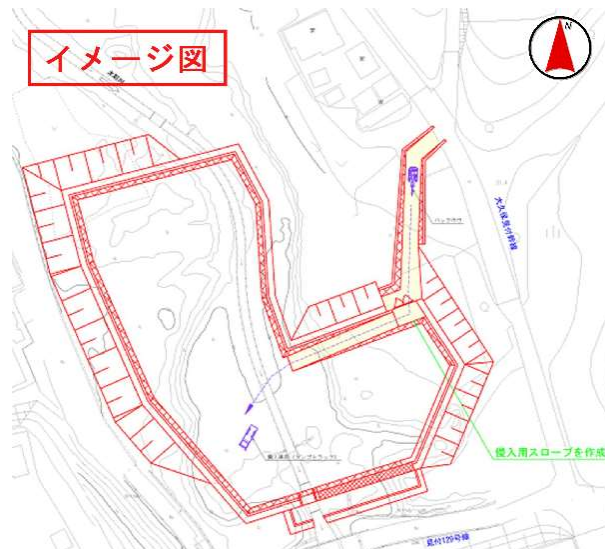
- ・ 普通河川等改修事業
- ・ 緊急自然災害防止対策事業債

関係者

- ・ いわた流域治水共創プロジェクト

問い合わせ

磐田市道 道路河川課
治水対策推進室
TEL: 0538-37-4993



◎事例概要（計画）

- 調整容量 11,800m³
- ・ 伐採工：14,000m²
- ・ 掘削工：50,000m³
- ・ ブロック擁壁工：390m
- ・ 放流工、洪水吐工：1か所
- 調整池による水堀川下流の水位低下 24cm

◎P Rポイント

令和4年台風第15号による大雨で甚大な浸水被害を受けた見付・今之浦地区の浸水被害を軽減させるため、水堀川上流域に調整を整備し、水堀川への流入量を減らすことで、下流域の家屋浸水や道路冠水などを減少させる効果が得られる。

函南町（新田地区）

来光川

位置図



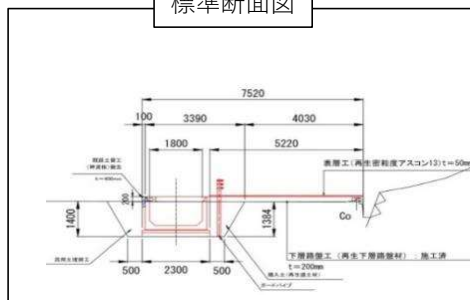
活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

標準断面図



現地写真



◎事例概要

函南町水災害対策プランの対策メニューとして施工。

【対策名】氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【施策名】雨水貯留浸透機能の向上

【概要】新田第一樋管から新田第二樋管までの一部区間（約140m）に連絡用水路を新設（令和6年3月完了）。

◎P R ポイント

新田排水機場への新たな導水路を確保し、雨水貯留機能の向上を図る。

下水道における安全・安心な浸水対策の推進（黒石川排水区）

藤枝市
（準）黒石川

位置図



活用制度

防災・安全交付金事業

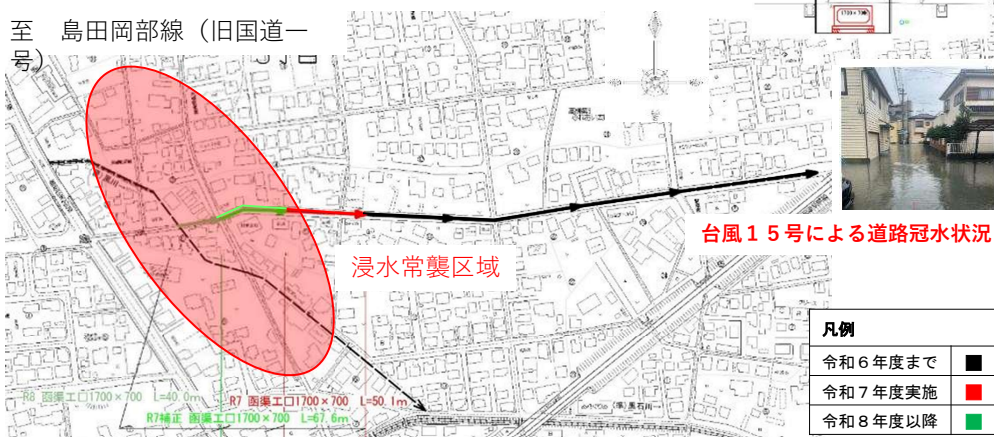
問い合わせ

藤枝市河川課
TEL: 054-643-3516

事業内容

【黒石川排水区】

至 島田岡部線（旧国道一
号）



台風15号による道路冠水状況

凡例	
令和6年度まで	■
令和7年度実施	■
令和8年度以降	■

◎事例概要

当事業は、黒石川排水区、大溝川第2排水区（若王子）など浸水リスクが高い地区の浸水対策を下水道事業で実施するものである。効率的かつ総合的な浸水対策を実施するために策定した雨水管理総合計画に基づき、雨水幹線の整備やバイパス管路の整備等を計画的に進め、浸水被害の軽減を図るものである。

◎効 果

黒石川第6排水区

- ・放流先となる準用河川黒石川の水位が常時高
- ・降雨時に流下能力不足により水位が上昇し都市下水路（幹線）の排水不良に伴う背水の影響・準用河川黒石川が流下能力不足となっている

⇒バイパス水路の布設

ボックスカルバート据付状況



藤枝市
（準）大溝川

位置図



活用制度

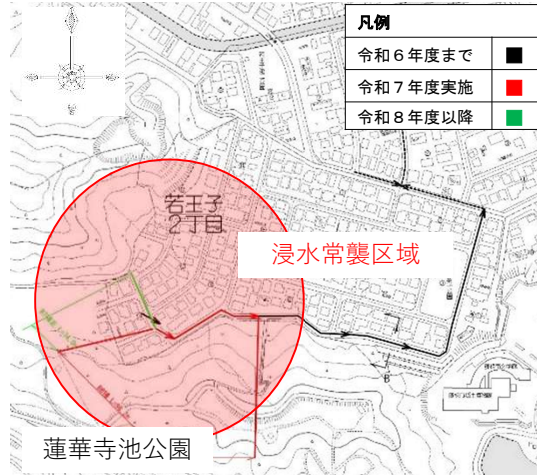
防災・安全交付金事業

問い合わせ

藤枝市河川課
TEL: 054-643-3516

事業内容

【大溝川排水区】



凡例	
令和6年度まで	■
令和7年度実施	■
令和8年度以降	■



台風15号による道路冠水状況



◎事例概要

当事業は、黒石川排水区、大溝川第2排水区（若王子）など浸水リスクが高い地区の浸水対策を下水道事業で実施するものである。効率的かつ総合的な浸水対策を実施するために策定した雨水管理総合計画に基づき、雨水幹線の整備やバイパス管路の整備等を計画的に進め、浸水被害の軽減を図るものである。

◎効果

- 大溝川第2排水区（若王子二丁目付近）
 - ・浸水被害が発生した地区はくぼ地形となっており雨水排水が十分行われていない。
 - ・排水区域の雨水排除は道路側溝のみで行われており、雨水排除能力が十分でない。

⇒枝線管渠の布設

ボックスカルバート据付状況



公共施設への雨水貯留施設新設(柏谷公園駐車場)

函南町（柏谷地区）

柿沢川

位置図



活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

平面図



現地写真



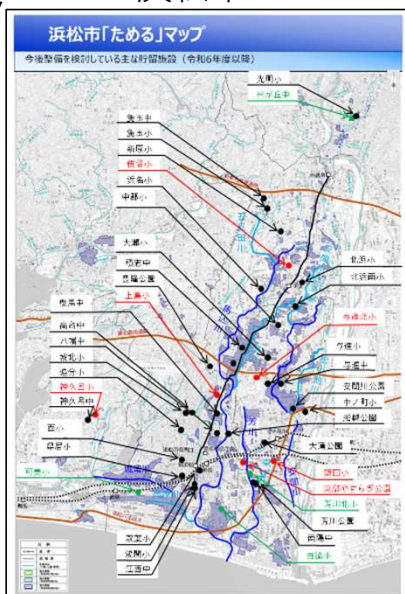
◎事例概要

- 函南町水災害対策プランの対策メニューとして施工。
- 【対策名】氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 【施策名】雨水貯留浸透機能の向上
- 【概要】柏谷公園駐車場に地上式雨水貯留施設を新設（令和7年10月完了）。

◎P Rポイント

既存の公共施設駐車場内の見切り擁壁を嵩上げすることで、雨水貯留機能（可能調整容量：約120m³）の向上を図る。

浜松市



関係者

- ・浜松市土木整備事務所
- ・浜松市教育施設課

問い合わせ

浜松市河川課
TEL: 053-457-2451



雨が降ると...



◎事例概要

浜松市総合雨水対策計画の一環として、重点対策エリア内の小中学校44校において、雨水を一時的に貯留する校庭貯留施設を整備し、治水安全度を向上させるもの。関係機関と連携を図りながら計画的に整備を進めている。

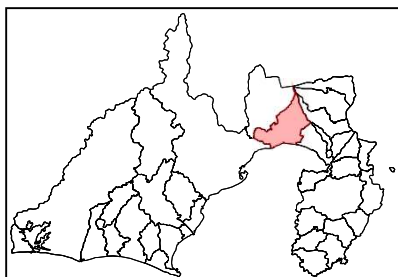
◎P Rポイント

実施にあたり、学校運営に大きな影響が出ないように、学校の意見を取り入れながら整備を実施している。

道路整備事業による調整池の設置

富士市

和田川・小潤井川・伝法沢川



活用制度

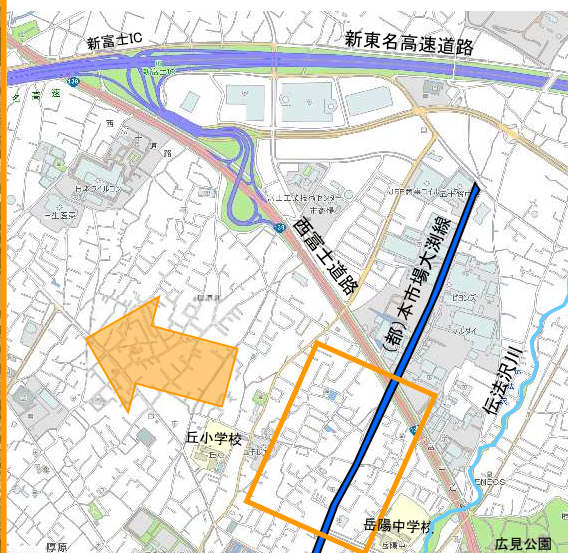
社会資本整備総合交付金事業－街路事業

関係者

—

問い合わせ

富士市道路整備課
TEL: 0545-55-2825



◎事例概要

都市計画道路本市場大淵線は「和田川・小潤井川・伝法沢川水災害対策プラン」の流域内に建設中の都市計画道路であり、下流域に浸水地区があることから本路線の建設にあたり、畑や田などの農地を道路とすることで想定される雨水流出増加分に対して、流出抑制を図るための調整池を設置した。

◎P Rポイント

開発行為と同様の基準により調整容量などを算出している。公共事業での流出抑制を率先して実施することにより、民間の開発行為で宅地化される場合においても、開発者に対して流出抑制対策の実施に関する指導がしやすい環境を醸成する一助となっている。

焼津市 石脇川流域



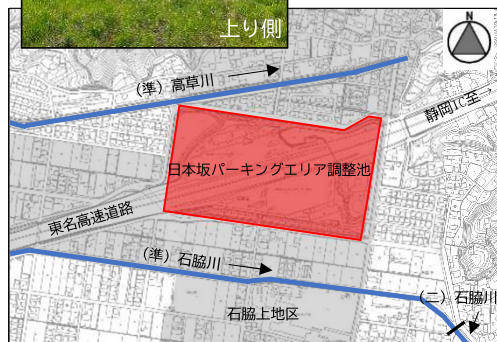
活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債
関係者

- ・焼津市
- ・中日本高速道路株式会社東京支社静岡保全・保全サービスセンター

問い合わせ

焼津市河川課
TEL: 054-626-1118



令和4年度台風第15号における日本坂PA調整池周囲の浸水状況



流入口の改良（案）

水路越流堤高改良（案）



流出口の改良（案）

◎事例概要

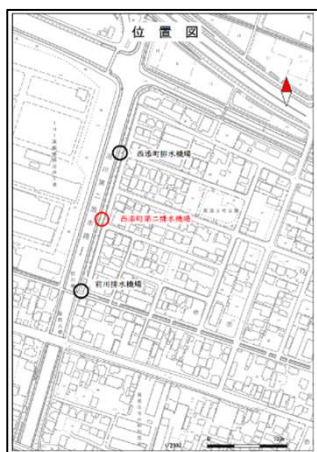
浸水被害が発生している焼津市石脇上地区で、中日本高速道路（株）と焼津市で共同利用している日本坂パーキングエリアの調整池について、近年の豪雨に適応した調整機能の確保に向けた施設改良の検討。

◎PRポイント

民間施設が所有する調整池を活用した治水対策は、流域治水の考え方である、「あらゆる流域関係者の協働による治水対策」の促進に繋がる。

西添町第二排水機場の新設

沼津市西添町地区



活用制度

・緊急自然災害防止対策事業債

関係者

- ・静岡県
- ・沼津市

問い合わせ

沼津市河川課
TEL: 055-934-4786



沼川第二放水路

◎事例概要

沼津市西添町地区は、大雨が降ると道路冠水や浸水被害が度々発生している地域です。西添町地区の浸水被害を軽減するため、前川排水機場、西添町排水機場を稼働させ堤内に溜まった内水を沼川第二放水路に強制排水していますが、近年の大雨に対し地域への浸水被害をより軽減させるため西添町第二排水機場を新設したものです。

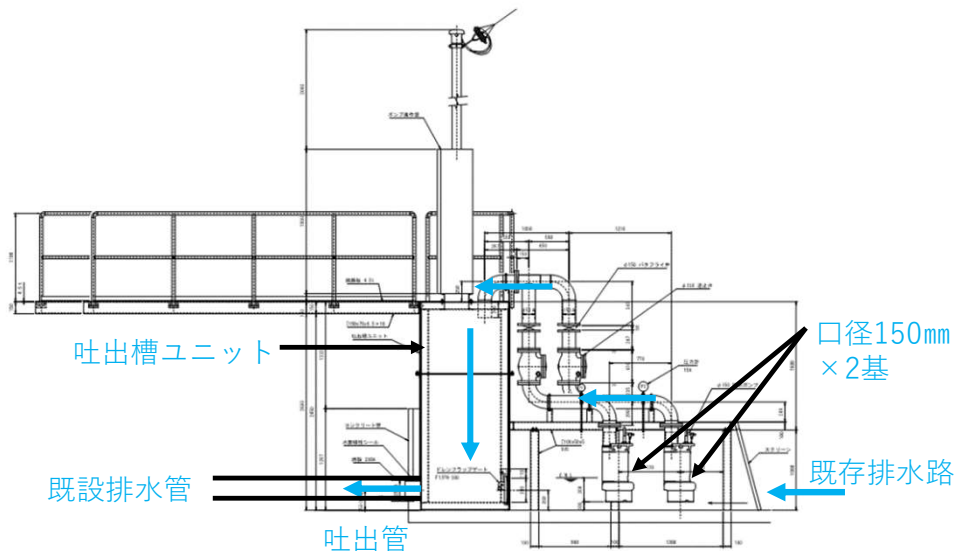
本事業は「沼川（高橋川）水災害対策プラン」の目標を達成するための一つの取組として実施し流域治水による治水対策を推進しているものです。

◎PRポイント

全自動（操作員による操作不要）で運用が可能なため、迅速安全な運用が可能です。口径200mmのポンプを2台（4m³/分×2台＝8m³/分）設置することで、一般的な25mプールの水をおよそ45分で空にする能力があります。R7.5の完成以降、大雨の際に稼働し効果を発揮しています。

[illegible]

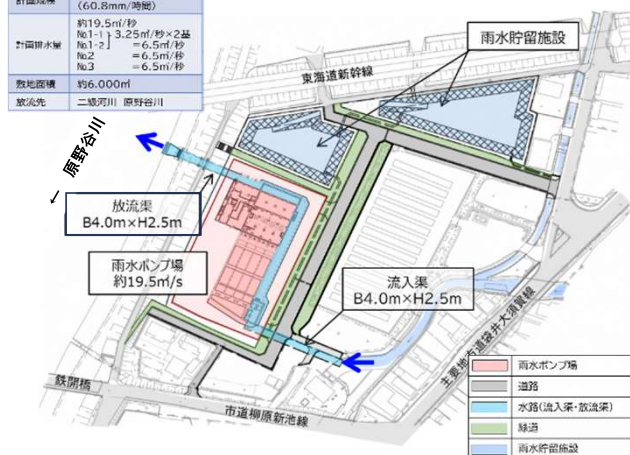
牧之原市建設課
TEL: 0548-53-2628



排水ポンプ（口径**150mm**×**2基**）吐出槽ユニットからの吐出管と既設排水
管を直接、接続することで、水圧の減衰がなく、吐出し量を確保して、河
川への排水をすることができます。

袋井市 土木防災課
TEL: 0538-44-3166

計画諸元	
計画規模	1/74年確率 (60.8mm/時局)
計画排水量	約19.5m ³ /秒
	No.1-1) 3.25m ³ /秒×2基
	No.1-2) = 6.5m ³ /秒
	No.2 = 6.5m ³ /秒
	No.3 = 6.5m ³ /秒
敷地面積	約6,000m ²
放流先	二級河川 原野谷川



〈イメージ図〉



〈イメージ図〉

An aerial photograph showing a proposed industrial facility. The facility consists of a large, light-colored rectangular building with a flat roof, and a smaller, darker building with a gabled roof. There are several smaller structures and parking lots around the main buildings. The facility is situated on a green field, with a road and a river visible in the background. The river is the Kashiwa River, and the facility is located at its mouth. The surrounding area is a mix of green fields and some existing infrastructure.

大規模施設の建設に伴う財源確保や計画的に事業推進を図る必要があることから、下水道防災事業費補助事業（大規模雨水処理施設整備事業）を活用するとともに、下水道事業団と委託協定を結び事業推進に努めている。また、ポンプ場と併せ、超過洪水に対応できるよう、雨水貯留施設の整備を緊急自然災害防止対策事業債を活用し推進している。

地域では、治水対策関連団体が組織され、定期的な意見交換などを行っている。

静岡市 (二) 巴川



活用制度

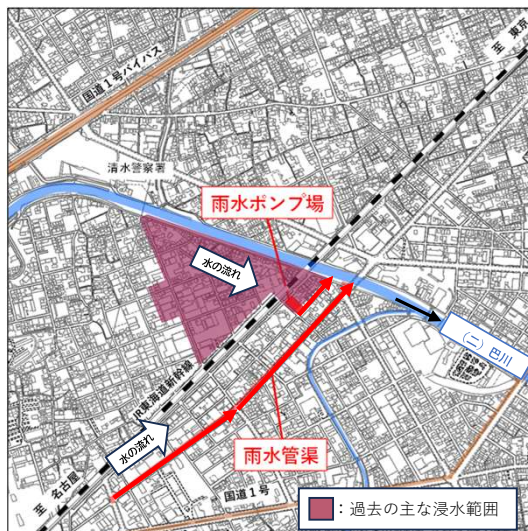
- ・下水道防災事業費補助事業
(大規模雨水処理施設整備事業)

関係者

- ・静岡県
- ・静岡市

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342



事業位置図（静岡市清水区渋川周辺）



雨水管渠内部（内径1,800mm）



雨水ポンプ場整備イメージ

◎事例概要

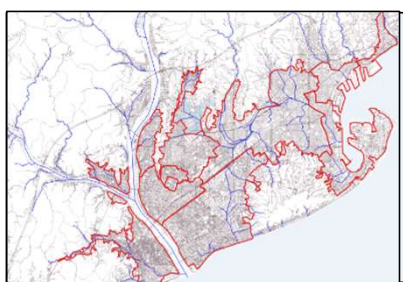
静岡市清水区渋川地区周辺は広い低地部を有しており、過去の台風や豪雨時には度々内水被害が発生してきました。このため、自然排水が困難な低地部の雨水を強制排水する雨水ポンプ場の整備と、上流域の雨水を速やかに排水するバイパス管（雨水管渠）の整備を組み合わせることで、浸水被害の軽減を目指しています。

◎P R ポイント

- ・低地部（雨水ポンプ場周辺）に雨水が集中し、内水被害が発生していることから、上流域の雨水を（二）巴川へ直接排水する雨水管渠を整備することで、ポンプ場への流入量を減らし、効率的な対浸水策を実施する。

道路への雨水浸透枳の整備

静岡市 (下水道全体区域内)



活用制度

- ・社会資本整備総合交付金事業
(新世代下水道支援事業制度)

関係者

- ・静岡市

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342

効果イメージ

整備前



整備後



既設道路集水枳に
浸透機能を付加



浸透管整備後の集水枳の内部

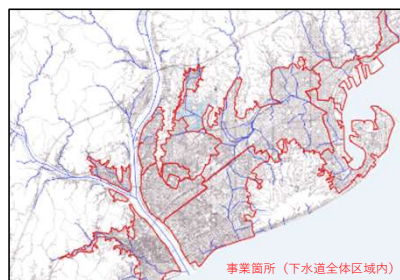
◎事例概要

静岡市では、下水道区域内を対象に雨水浸透機能の増強を図っています。既設の道路集水枳に浸透管を追加し、雨水を地中にしみ込ませることで、河川や下水道への流出量を抑制していきます。あわせて、地下水涵養などの環境改善効果も期待されます。

◎P R ポイント

- ・雨水流出抑制による河川・下水道への負荷軽減
- ・地下水涵養による水循環の健全化

静岡市
(下水道全体区域内)



活用制度

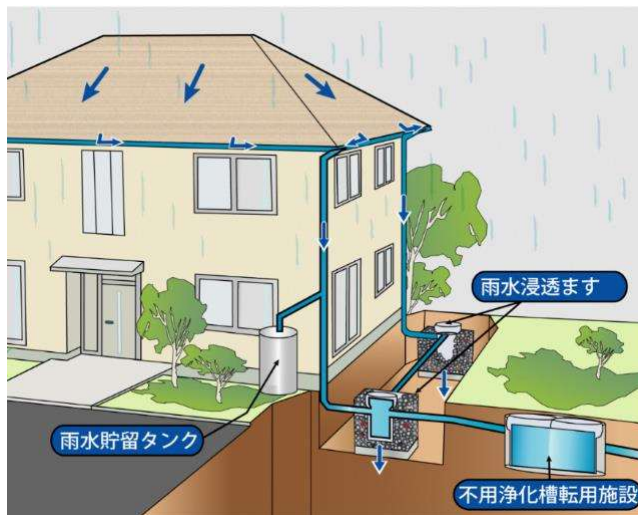
- ・社会資本整備総合交付金事業
(新世代下水道支援事業制度)

関係者

- ・静岡市民・事業者等
- ・静岡市

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1342



事業イメージ



雨水貯留タンク設置事例

◎事例概要

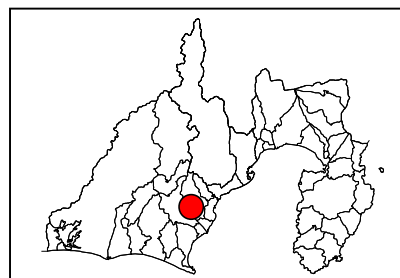
静岡市では、下水道区域内における雨水浸透枳や雨水貯留タンクの設置を促進するため、助成制度を実施しています。自宅や事業所敷地で雨水を一時的に貯めることで、河川・下水道への負担を軽減し、庭木の水やりなどへの再利用による節水を図ります

◎P R ポイント

- ・雨水流出抑制による河川・下水道への負荷軽減
- ・地下水涵養による水循環の健全化

雨水浸透施設の設置促進

島田市
(都市計画区域内)



活用制度

- ・雨水浸透施設設置
費補助金交付制度

関係者

- ・市民
- ・民間事業者
- ・島田市

問い合わせ

島田市都市政策課
TEL: 0547-36-7179



◎事例概要

- ★雨水浸透施設設置費補助金
 - ▶上限金額：30,000円／基
 - ▶対象基数：屋根面積160㎡未満 2基まで 屋根面積160㎡以上 4基まで

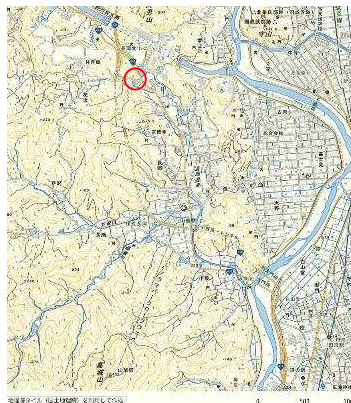
- ★宅地分譲における雨水浸透施設設置の義務化
宅地分譲（施行面積1,000㎡以上）では、雨水浸透施設の設置が条件

◎P R ポイント

- ★市民、民間事業者、島田市が協力し、雨水の流出抑制に取り組むことで、地域の安全性を高め、安心して暮らせる街づくりを推進しています。

伊豆の国市

ため池（大堤池）



活用制度

- ・団体営ため池等整備事業

関係者

- ・静岡県・伊豆の国市

問い合わせ

伊豆の国市産業部農林課
TEL: 055-948-1460

状況写真



◎事例概要

本池は、伊豆の国市長岡地内に位置し、ため池の機能のほかに親水公園としても市民に親しまれている場所である。

水田の減少により、農業用の水源としての利用見込みがなく、また、耐震基準も満たしていないことから廃止予定のため池であったが、近年の短時間豪雨等の自然災害による被災を未然に防止するため、洪水調整機能を残置した雨水調整池として整備を予定している。

◎P R ポイント

伊豆の国市と姉妹都市の関係にあった京都府長岡京市の八条ヶ池をモデルに、大堤池の周囲には散歩できるような回廊を設け、池の中には噴水を設置することで、市民が憩うことができる公園として整備されており、雨水調整池としての機能を持たせることで地元住民に防災減災施設としても周知をすることができ、地域住民の意識向上も図れる。

田んぼダムの取組

【袋井市】

- (二)沖之川（準）松橋川
- (二)蟹田川（普）国本排水路



活用制度

関係者

- ・袋井市 土木防災課
- ・袋井市 農政課

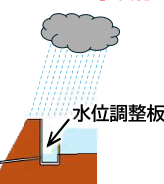
問い合わせ

袋井市 土木防災課
TEL: 0538-44-3166

「田んぼダム」未実施



「田んぼダム」実施



水位調整板を設置した排水樹



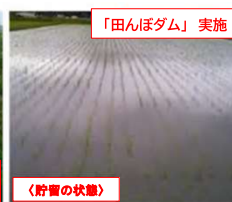
〈水位調整板〉



通常の状態



「田んぼダム」未実施
排水量多い



「田んぼダム」実施
排水量少ない

協力者との意見交換



これまで取組面積(ha)	R4	R5	R6	R7
沖之川流域	10	10	28	13
蟹田川流域	—	16	18	52
合 計	10	26	46	65

◎事例概要

本市の「田んぼダム」は、水田の排水樹に設置する堰板をV字型の切込みが入った水位調整板に変更するだけで、「田んぼ」が持っている雨水を貯める機能を高め、ゆっくりと排水することで降雨時に下流河川や排水路の水位上昇を抑制する仕組みである。

令和4～5年に静岡理科大学とともに実証実験に取り組み、貯留効果やピーク流出量（最大流出量）の抑制効果を確認した。また、営農への影響については、アンケートや聞き取り調査を行い、「収穫量や品質に影響はなかった」との回答が得られているが、地域差や品種等による影響も考えられるため、浸水常襲地区において、取組範囲を拡大させながら、浸水軽減効果や多くの耕作者の意見を伺うなど、課題を把握したうえで地域全体への展開に繋げていく。

◎P R ポイント

水位調整板1枚で、田んぼへの貯留、下流河川への流出抑制が可能

浜松市

馬込川水系馬込川

位置図

事業箇所

活用制度

- ・浜松市田んぼダム
流量調整板支給事業

関係者

- ・土地改良区
- ・地域住民

問い合わせ

浜松市農地整備課
TEL: 053-457-2314



- ① : 「田んぼダム」の仕組み
出典 農水省
「田んぼダム」の手引き
- ②, ③ : 浜名区での堰板授与式の様子

◎事例概要

田んぼがもともと持っている「水を貯める機能」を有効活用し、大雨が降った時、一時的に田んぼに雨水を貯めることで、排水路や河川の水位が急に上がることを抑える取組です。

浜松市では流量調整版支給事業を活用し、田んぼダムの取り組み希望者を対象に堰板の配布を行っており、令和7年12月末までに18.5haの田んぼに水田貯留用の堰を配布しました。

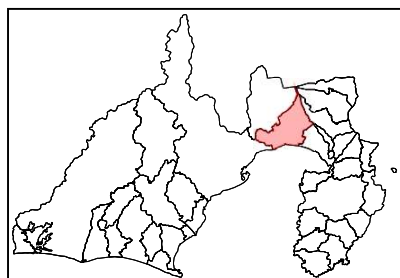
◎PRポイント

支給する堰板には浜松市産の天竜材を使用しています。
浜松市では地域ぐるみで環境保全と防災意識を高めるため、幼稚園の園児が堰板へイラストなどを描き、地元のコメ生産者らへ贈る取り組みを行いました。
排水桝の寸法に合わせた複数の種類の堰板を用意し、希望者のニーズに応えています。

防災アプリ「防災ふじ」を活用した避難行動要支援者の避難支援体制構築

富士市

市内全域



活用制度

- ・地震・津波対策等
減災交付金

関係者

—

問い合わせ

富士市防災危機管理課
TEL: 0545-55-2936



いざという時に役立つ様々な便利機能を搭載！



防災アプリ「防災ふじ」

災害時の避難支援機能（防災ヘルプ機能）



避難行動要支援者の支援機能について

◎事例概要

「防災情報がまとめてわかる」をコンセプトとした防災アプリ「防災ふじ」を令和5年11月にリリース。防災情報を手軽に入手できる一般機能のほか、災害時に災害時避難行動要支援者（以下、要支援者。）と支援者がマッチングし、避難支援を行う防災ヘルプ機能も搭載しており、平時から災害時まで広く活用ができるよう整備した。

<アプリの利用状況（R8.2末時点）>

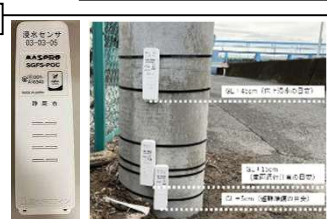
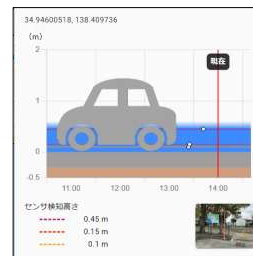
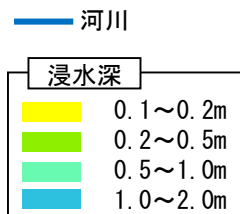
総ダウンロード数：20,473件、登録済みの要支援者数：734人、支援者数：1,112人

◎PRポイント

一般機能は、防災マップや災害リスクを調べる機能、マイタイムライン作成機能等を搭載。災害時は避難施設の混雑状況が確認できる。

防災ヘルプ機能は、避難情報の発令を自動感知して立ち上がり、事前に登録した要支援者が周辺の支援者に支援要請を行い、安否確認や避難施設への避難支援を行うことを想定している。

静岡市 (二) 巴川



2025年9月5日の洪水時に市民に公表した
巴川浸水情報システム表示画面の例

活用制度

- ・ 巴川水系効果促進事業

関係者

- ・ 静岡県
- ・ 国土交通省
- ・ 気象庁
- ・ 静岡市民（巴川流域住民）

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1087

◎事例概要

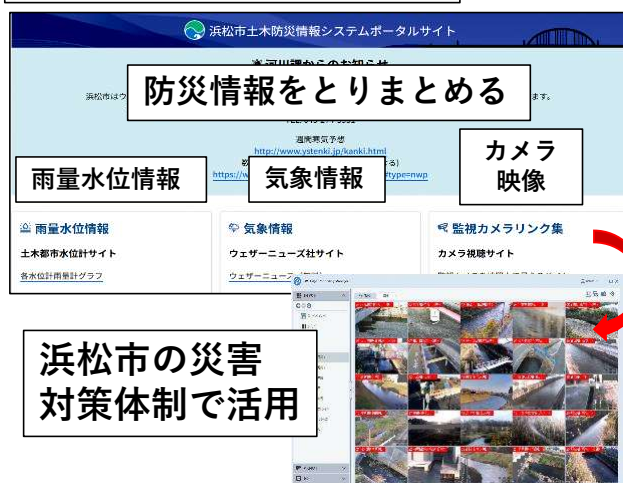
(二) 巴川は静岡市を流れる県管理河川であり、複数の遊水地や放水路が存在し、外水氾濫の他、支川へのバックウォーター現象や流入下水道の排水能力等、様々な要因で浸水が生じている。本システムは、河道特性や浸水要因となる事象を考慮した解析が可能な、河川水位・浸水予測モデルを用い、天気予報データをインプットすることで、巴川や支川の水位や氾濫域を予測し、市民の事前の避難行動等につなげる情報を提供している。

◎P Rポイント

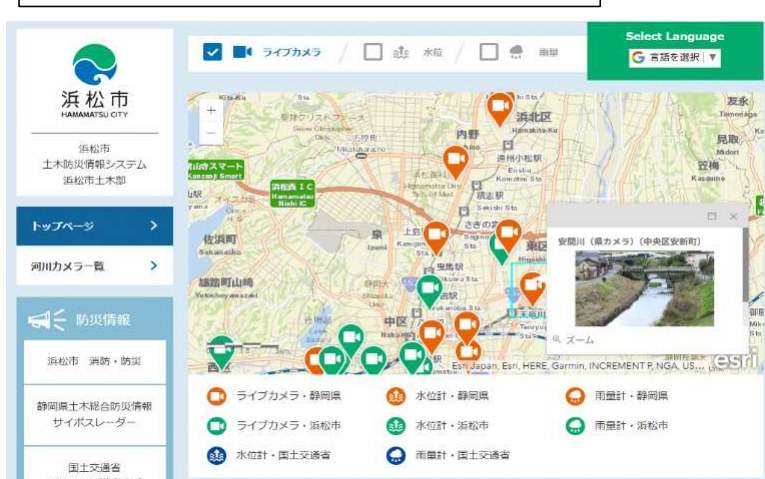
- ・ 避難指示や高齢者等避難などの避難情報を発令するための判断材料に活用でき、早期に市民への情報提供が可能
- ・ 職員が流域全体でリスクの高いエリアを確認できるため、現地確認の優先順位を決定できる。
- ・ 浸水センサーの観測結果を本システムに導入することで、より精度の高い浸水範囲を表示することが可能
- ・ 浸水面積が可視化できるため、今後の浸水対策検討に活用できる。
- ・ 流域全体のシミュレーションモデルを構築できたため、新たな治水対策の検討が可能

防災情報発信の強化（浜松市土木防災情報システム）

浜松市での防災情報収集



市民公開（カメラ,水位,雨量情報）



浜松市

関係者

- ・ 国土交通省中部地方整備局
- ・ 静岡県
- ・ 浜松市

問い合わせ

浜松市河川課
TEL: 053-457-2452

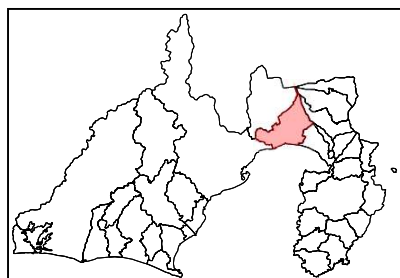
◎事例概要

浜松市が設置している河川カメラ・水位計・雨量計及び国や県が設置している河川カメラ・水位計・雨量計の情報を浜松市土木防災情報システムに集約し、市民公開しています。

◎P Rポイント「迅速な防災情報の提供」

“ひとつのサイト”でカメラ映像、水位、雨量をリアルタイムで確認することができ、市民の迅速な防災情報の把握につなげています。

富士市 市内全域



活用制度

—

関係者

・富士土木事務所

問い合わせ

富士市道路維持課
TEL: 0545-55-2832



市公式LINEでの 交通規制情報発信



道路監視カメラとカメラ映像

◎事例概要

主要幹線道路における車の水没や、通行止めに伴う交通渋滞の発生を抑制するため SNS等にて道路規制情報の提供を行っている。県道で交通規制が生じた場合は、交通遮断が生じることになるため、県等と綿密な連携体制をとっている。
また浸水常襲地区においては、監視カメラにて冠水状況を確認することで、正確な情報把握が可能になり、情報発信の初動を早めている。

◎P R ポイント

正確な情報発信することによって、市民自らが危険を回避するための行動を促すとともに、道路冠水等に伴う一般交通への影響を軽減することに繋がっている。

水位計・河川監視カメラ・雨量観測システムの拡充

藤枝市

水位計・河川監視カメラ
雨量観測システムの拡充

位置図



活用制度

—

問い合わせ

藤枝市河川課
TEL: 054-643-3516

事業内容

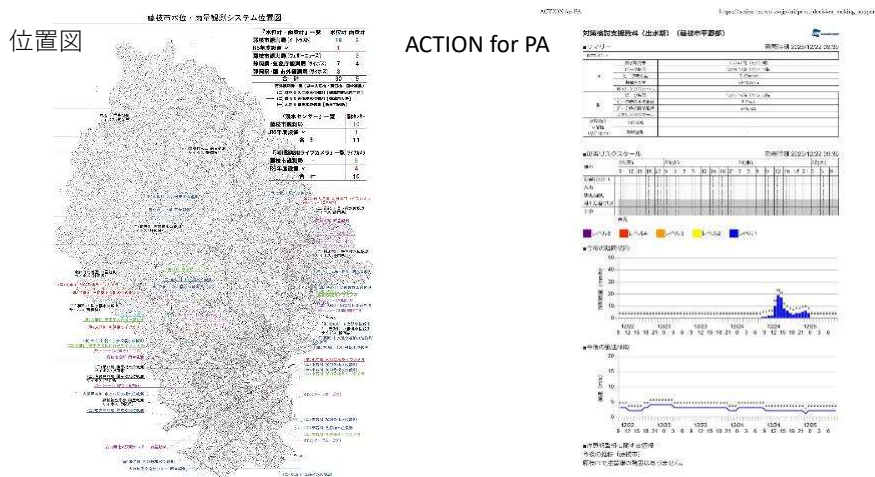
水位計・河川監視カメラ・雨量観測システムの拡充

◎事例概要

水防の各配備体制への移行及び住民への避難指示等の発令の判断に必要な本市に特化した精度の高い防災情報を民間気象業者から入手するほか、水位・雨量観測システムの拡充や河川水位予測システム、水害危険区域解析・避難対象者抽出システムなどを活用し、適切な水防配備体制や的確な避難情報の発出につなげ、市民の逃げ遅れゼロに向けて取り組んでいる。

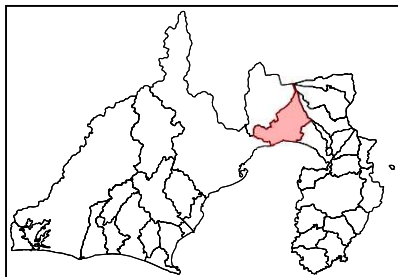
◎効 果

雨量計5箇所、水位計17河川20箇所、浸水センサー8河川11箇所、河川監視用ライブカメラ8河川12箇所に設置して河川監視体制を強化するとともに、民間気象会社(株)ウェザーニューズとの連携により、藤枝市に特化した情報をリアルタイムで受信することで、迅速な水防体制の配備や、水防業務の充実に図られている。



富士市

浸水常襲地区



活用制度

—

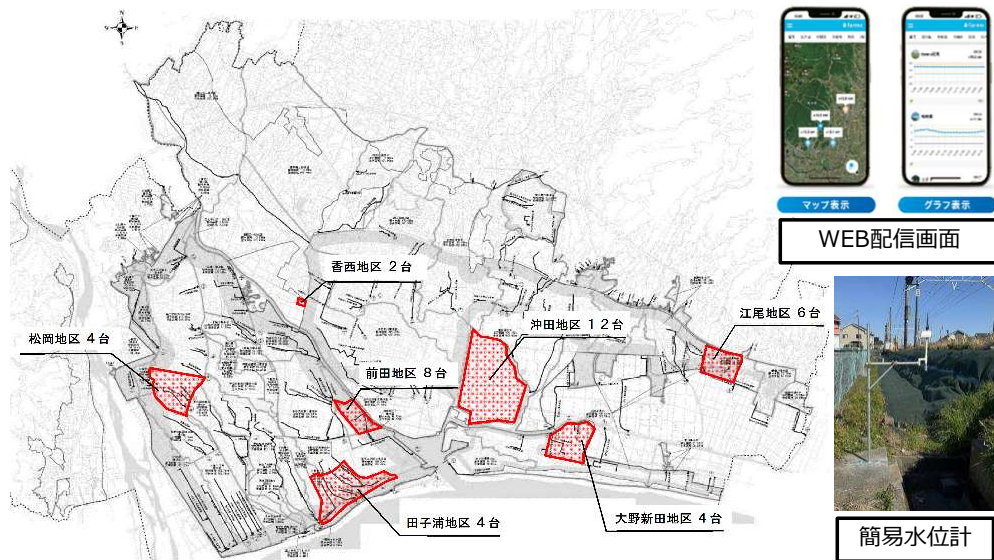
関係者

—

問い合わせ

富士市河川課

TEL: 0545-55-2834



◎事例概要

内水浸水被害が頻繁に発生している地区に、水位情報を把握するため、計40か所の水位計を設置している。豪雨が予想される際には、職員が河川状況を確認することで迅速な水防活動につなげている。また、市民にも情報を公開し避難行動での活用を促している。

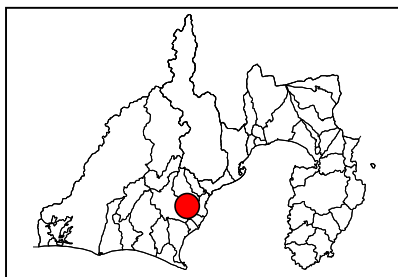
◎P R ポイント

設置している水位計は、5分間隔で水位を計測・表示する機器となっており、太陽光発電による稼働のため電源・配線工事や電池交換が不要な機器となっている。また、計測したデータも蓄積されるため、雨量との相関関係などのデータ整理にも活用が可能となっている。

リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の普及活動

島田市

市内全域



活用制度

—

関係者

危機管理型水位計運用協議会

問い合わせ

島田市危機管理課

TEL: 0547-36-7143

波田川設置の水位計



南原沢川設置の水位計



◎事例概要

★島田市防災メール、島田市水防メール、島田市公式LINE

迅速な水防活動を支援するためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の普及活動を実施

▶危機管理型水位計・河川監視カメラ等を整備

◎P R ポイント

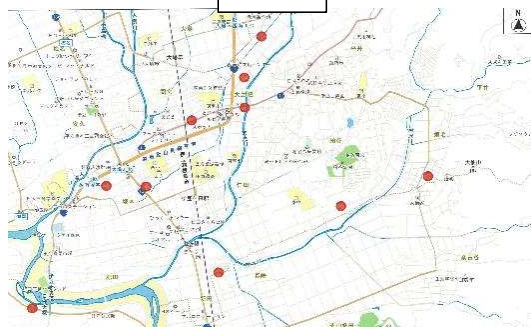
気象情報や地震情報などの緊急情報を素早く伝えるため、島田市防災メールの配信を行っている(24時間365日)。気象関連情報のほか、同報無線の放送内容についても放送と同時に配信しているため、建物内や大雨時の屋外など放送が聞き取り難い状況下であっても、放送内容を文章で内容を確認することが可能であり、災害時の備えとして有効な情報伝達手段として多くの方に登録をいただいている。

また、川の氾濫の危険度を把握や避難の指標として情報提供することを目的に洪水時に特化した水位観測を行う危機管理型水位計を設置することにより、住民自らが川の水位情報を収集すること可能とし、早期避難を支援、逃げ遅れによる被害を防止している。

函南町（町内全域）

来光川・柿沢川

位置図



国土交通省浸水センサ表示システム



現地写真



関係者

- ・国土交通省
- ・民間企業

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

◎事例概要

函南町水災害対策プランの対策メニューとして新規追加予定

【対策名】被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

【施策名】避難体制の強化

【概要】冠水頻度の高い箇所ワンコイン浸水センサを設置。

令和5月9日設置完了（町内10箇所）※地上高15cmで設置。

◎PRポイント

ワンコイン浸水センサの設置により、早期避難及び道路パトロールの省力化の推進を図る。スマートフォンからも閲覧可能であり、アナウンス機能の追加により更なる省力化に繋がっている。

ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

吉田町坂口谷川



活用制度

- ・地震・津波対策等減災交付金事業

関係者

- ・静岡県危機管理部

問い合わせ

吉田町防災課
TEL: 0548-33-2164



◎事例概要

『わたしの避難計画』とは、身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、一人ひとりがあらかじめ作成し整理したもの。

町内イベント及び町内小中学校の防災教育で、『わたしの避難計画』を周知。

◎PRポイント

地震・津波対策等減災交付金事業の実施に当たり、わたしの避難計画がんばる市町に認定。

清水町
狩野川



活用制度

・わたしの避難計画事業

関係者

自主防災会
消防団

問い合わせ

清水町くらし安全課
TEL: 055-981-8205

R6地域防災訓練



R7地域防災訓練



◎事例概要

住民が主体的な避難行動につなげるための取組として、令和6年度と令和7年度の地域防災訓練の際に「わたしの避難計画」を活用して、避難先や避難のタイミングといった災害時の行動をあらかじめ計画することで、自助の促進をはかった。

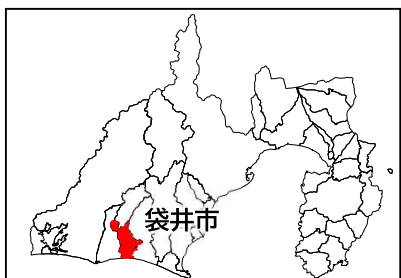
◎P R ポイント

防災訓練に合わせることで、区の防災役員のみへの説明のみならず、多くの住民・消防団員に作成の呼びかけをすることができた。
地震のような突発的な災害や風水害のように気象情報から時系列で行動を整理できる災害といった、災害ごとの行動要領の確認をした。

地域防災力の強化

【袋井市】

(二) 太田川
(二) 原野谷川ほか



活用制度

関係者

・袋井市 危機管理課
・袋井市 消防団

問い合わせ

袋井市危機管理課
TEL:0538-86-3701



消防団（水防団）員の水防演習



消防団（水防団）員への水防工法講習会

◎事例概要

出水時期を迎えるにあたり、消防団（水防団）員に対し、水防工法の講習会などの座学訓練とともに、水防演習等による土のう積工などを実施している。

また、洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、備蓄資材の拡充、水防倉庫の維持管理を継続的に実施している。

◎P R ポイント

磐周支部（磐田市、森町、袋井市）合同で水防演習を実施し、知識や技術の向上に努めている。

伊豆の国市



関係者

- ・市内小中学校
- ・チーム防災いずのくに
- ・伊豆の国市

問い合わせ

伊豆の国市総務部危機管理課
TEL: 055-948-1482



◎事例概要

市内小中学校において、「防災教育」を支援

- ・中学校については、防災講座（狩野川台風と令和元年台風19号との比較）と土のう作り体験を実施。
- ・小学校については、段階を追った防災講座（ハザードマップの見方・クロスロード・防災カルタ等）を行い、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。

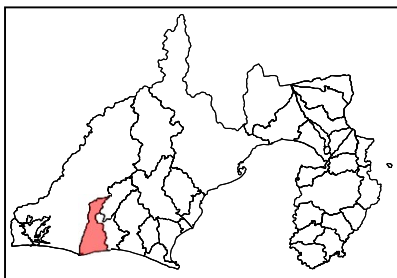
◎P R ポイント

- ・防災講座を通じて、中学生の作った土のうについては、地域の風水害に役立てている。
- ・小学生については、防災講座を通じて防災に興味を持ってもらい、自ら防災すごろくの作成やポスターの作成をしてもらった。

民間施設の一部を緊急避難場所として住民の安全確保

磐田市

敷地川ほか



活用制度

—

関係者

- ・企業

問い合わせ

磐田市危機管理課
TEL: 0538-37-2116



◎事例概要

市内の企業等と災害時応援協定を締結し、大雨による洪水が懸念される際に、企業の敷地の一部を、人や車両の緊急避難場所として利用できるようにしている。

◎P R ポイント

協定を通じて事前手続きや受け入れ体制を整え、避難時の誘導・受け入れがスムーズに行われることを強調します。混乱を最小化し、安心感を提供します。また、企業に無理をさせないよう、ルール設定や一定のエリアの住民を対象にするなどの工夫をしている。

(排水ポンプ車)

排水ポンプ車概要	
納車日	令和6年7月23日
必要免許	中型免許
	旧普通免許 中型車8t限定
車両寸法	車幅2.3m×車長7.7m×車高2.7m
タンク容量	250L
稼働時間	9時間+4時間(車両燃料)=13時間
排水ポンプ	4台(1台あたり 7.5m ³ /分)
排水揚程	10m
排水能力	7.5m ³ /分 × 4台 = 30.0m ³ /分
ケーブル延長	40m
ホース	10m × 4巻 = 40m分
	20m × 8巻 = 160m分



(排水ポンプパッケージ)

排水ポンプパッケージ概要	
納品日	令和6年6月5日
運搬車両	4tクレーン付トラック(ロング)
必要運転免許	中型免許
	旧普通免許 中型車8t限定
作業必要資格	小型移動式クレーン 玉掛け
発電機	W1850×D880×H1250
	1100kg
発電機タンク容量	100L
パッケージ	W1600×D1200×H1500
	915kg
稼働時間	9時間
排水ポンプ	φ200mm 2台 (5.0m ³ /分)
ポンプ重量	約35kg/台
排水揚程	10m
排水能力	5.0m ³ /分 × 2台 = 10.0m ³ /分
ケーブル延長	40m
ホース重量	約30kg/本
ホース	20m × 4巻 = 80m分



沼津市

活用制度

- ・緊急自然災害防止対策事業

問い合わせ

沼津市建設部河川課
TEL: 055-934-4786

◎事例概要

近年激甚化する豪雨災害に備え、非常時に機動的に運用可能な排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ(2台)を令和6年度に導入しました。活用内容としては、常襲浸水地域(西添町地区・大平地区)へ出動、内水排除活動を実施し、浸水被害軽減に努めております。

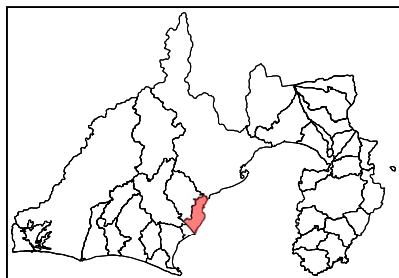
◎P R ポイント

排水ポンプ車は、4t車をベースにしております。排水能力は1分間に7.5tの水を排出可能なポンプを4台搭載しております。一般的な25mプールであれば、約10分で水を排出することができます。稼働時間は最大で約13時間稼働することができます。

次に排水ポンプパッケージの排水能力は、パッケージ1台あたり1分間に5.0tの水を排出可能なポンプを2台搭載しております。一般的な25mプールであれば、約30分で水を排水することが可能です。稼働時間については、最大約9時間となっております。

排水ポンプ車等の増設

焼津市



活用制度

- ・緊急自然災害防止対策事業債

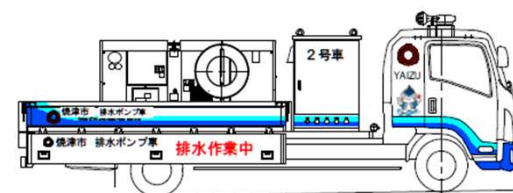
関係者

- ・焼津市
- ・焼津建設工業会
- ・(協)大井川建設業協会

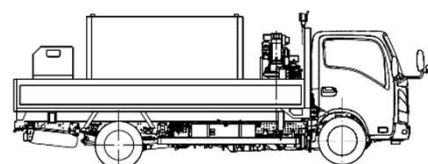
問い合わせ

焼津市河川課
TEL: 054-626-1118

新たに導入する排水ポンプ車



新たに導入する可搬式排水ポンプ



◎事例概要

頻発化する豪雨災害に対して、新たに排水ポンプ車1台と可搬式排水ポンプ1台を増設し、より迅速な排水作業による浸水被害の軽減・早期復旧に向けた水防活動の強化を図る。

◎P R ポイント

市内を流下するすべての1級河川、2級河川の河口部に位置する本市は、地形的要因から潮位の影響による内水氾濫により、沿岸部を中心に浸水被害を受けやすく、既存の排水ポンプ車を含めた3台の排水ポンプ車による、緊急時の迅速な内水排除体制の構築は、流域の安心・安全の向上に寄与するものである。

また、排水ポンプ車の操作運用を地元の建設業関係団体に委託し、迅速かつ安全な作業体制を構築し水防体制の強化を図る。

吉田町坂口谷川



活用制度

・緊急自然災害防止
対策事業債

関係者

・静岡県交通基盤部
河川砂防局

問い合わせ

吉田町建設課
TEL: 0548-33-2123



◎事例概要《 $0.26\text{m}^3/\text{s}$ （現況） $\Rightarrow 0.86\text{m}^3/\text{s}$ （増設）（ $0.60\text{m}^3/\text{s}$ 増強）》

近年、水害が頻発化・激甚化する中、国では降雨量の増加への対策検討が進められている。

「坂口谷川水災害対策プラン」に基づき、短期対策に位置付けられた静岡県榛原郡吉田町普通河川宮裏川河口部における吉田町第3号ポンプ場整備。

◎P Rポイント

ポンプ場を整備することにより、床上浸水を解消し、道路冠水を軽減。

可搬式排水ポンプの設置

吉田町坂口谷川



活用制度

・緊急自然災害防止
対策事業債

関係者

・吉田町牧之原市広域施設組合
・グラウンドゴルフ協会

問い合わせ

吉田町建設課
TEL: 0548-33-2123



◎事例概要《 $0.25\text{m}^3/\text{s} \times 2 = 0.50\text{m}^3/\text{s}$ （新設）》

近年、水害が頻発化・激甚化する中、国では降雨量の増加への対策検討が進められている。

「坂口谷川水災害対策プラン」及び「吉田町湯日川流域治水対策計画」に基づき、短期対策に位置付けられた可搬式排水ポンプ2基を購入。

◎P Rポイント

水防活動に使用する可搬式排水ポンプを整備することにより、水害時の災害対応能力の向上。